

大崎市のりんりんの会で考案された

手作りパッドの情報が河北新報に掲載されました

ずれず快適 手作りパッド

がん支え合い
共に生きよう

りんりんの会が考案したパッド

手術で乳房を切除した乳がん患者のために、大崎市の乳がん経験者を中心につくる患者会「りんりんの会」が市販の布で手作りできる補正パッドを考案した。ずれにくいデザインで、安い材料で作れるのが特徴。こまめに洗濯できるよう取り外しができるタイプもあり、利用者に歓迎されている。

パッドは羽根の形をしたシート、キルト芯とパレットを詰めた膨らみの部分から成る。綿のダブルガーゼを生地に使い、ずれにくいようシートを下着の線に合う形にした。

S、M、Lの3サイズあり、取り外せるタイプは5月下旬に特許

大崎「りんりんの会」考案

出願した。りんりんの会代表の高橋修子さん(61)「大崎市」は「自分に合う形の補正具を安く手に入らされるようになれば、乳房を切除した患者さんは安心できる」と話す。

材料費は500円程度。作り方を覚えれば、手縫いで1〜2時間できる。三重県の患者会から見本を取り寄せ、高橋さんと会員の患者がアイデアを出し合い、形や作り方を考えた。

乳がんの手術後、昨年10月からパッドを愛用する主婦(47)は「肌触りが良く、フィットして快適。外出時はずれる心配がない。洗濯機で洗えて、すぐ乾くから助かる」と言う。

高橋さんらによると、患者向けの補正具は一部の下着メーカーが主に通信販売している。1万〜2万円台のシリコン製品が主流で、

種類が限られる。体形に合うものが見つからない、下着に合わない、とずれる、高価で頻繁に買い替えられないといった理由で、補正具選びは患者にとって悩みの種だったという。

りんりんの会は5月末から、患者らを対象に作り方の講習会を随時開いている。高橋さんは「外出した時に見た目を気にせず、前向きになれるよう、補正具が手作りできることを多くの患者さんに知ってほしい」と語る。

◇ 次回の講習会は22日午前9時半から、大崎市古川穂波の大崎市民病院である。女性限定で先着12人。15日までに電話などで申し込む。参加費300円と材料費が必要。見学は自由。連絡先はりんりんの会090(6259)9205。

乳房切除 がん患者向け

材料費安価

取り外し洗濯可能

りんりんの会(乳がん体験者の会)で考案された

手作りパッドの情報が河北新報に掲載されました

ずれず快適 手作りパッド

がん支え合い
共に生きよう



りんりんの会が考案したパッド

手術で乳房を切除した乳がん患者のために、大崎市の乳がん経験者を中心につくる患者会「りんりんの会」が市販の布で手作りできる補正パッドを考案した。ずれにくいデザインで、安い材料で作れるのが特徴。こまめに洗濯できるよう取り外しができるタイプもあり、利用者に歓迎されている。

パッドは羽根の形をしたシート、キルト芯とパレットを詰めた膨らみの部分から成る。綿のダブルガーゼを生地に使い、ずれにくいようシートを下着の線に合う形にした。

S、M、Lの3サイズあり、取り外せるタイプは5月下旬に特許

大崎「りんりんの会」考案

出願した。りんりんの会代表の高橋修子さん(61)＝大崎市＝は「自分に合う形の補正具を安く手に入られるようになれば、乳房を切除した患者さんは安心できる」と話す。

材料費は500円程度。作り方を覚えれば、手縫いで1～2時間できる。三重県の患者会から見本を取り寄せ、高橋さんと会員の患者がアイデアを出し合い、形や作り方を考えた。

乳がんの手術後、昨年10月からパッドを愛用する主婦(47)は「肌触りが良く、フィットして快適。外出時はずれる心配がない。洗濯機で洗えて、すぐ乾くから助かる」と言う。

高橋さんらによると、患者向けの補正具は一部の下着メーカーが主に通信販売している。1万～2万円台のシリコン製品が主流で、

種類が限られる。体形に合うものが見つからない、下着に合わない、高価で頻繁に買い替えられないといった理由で、補正具選びは患者にとって悩みの種だったという。

りんりんの会は5月末から、患者らを対象に作り方の講習会を随時開いている。高橋さんは「外出した時に見た目を気にせず、前向きになれるよう、補正具が手作りできることを多くの患者さんに知ってほしい」と語る。

◇ 次回の講習会は22日午前9時半から、大崎市古川穂波の大崎市民病院である。女性限定で先着12人。15日までに電話などで申し込む。参加費300円と材料費が必要。見学は自由。連絡先はりんりんの会090(6259)9205。

乳房切除 がん患者向け

材料費安価 ■取り外し洗濯可能